

ハンド封函機

TSH-15型
TSH-18型
取扱説明書

H-03-05

—お 願 い—

このたびタチカワ「ハンド封函機」をご採用いただき、誠に有難うございます。

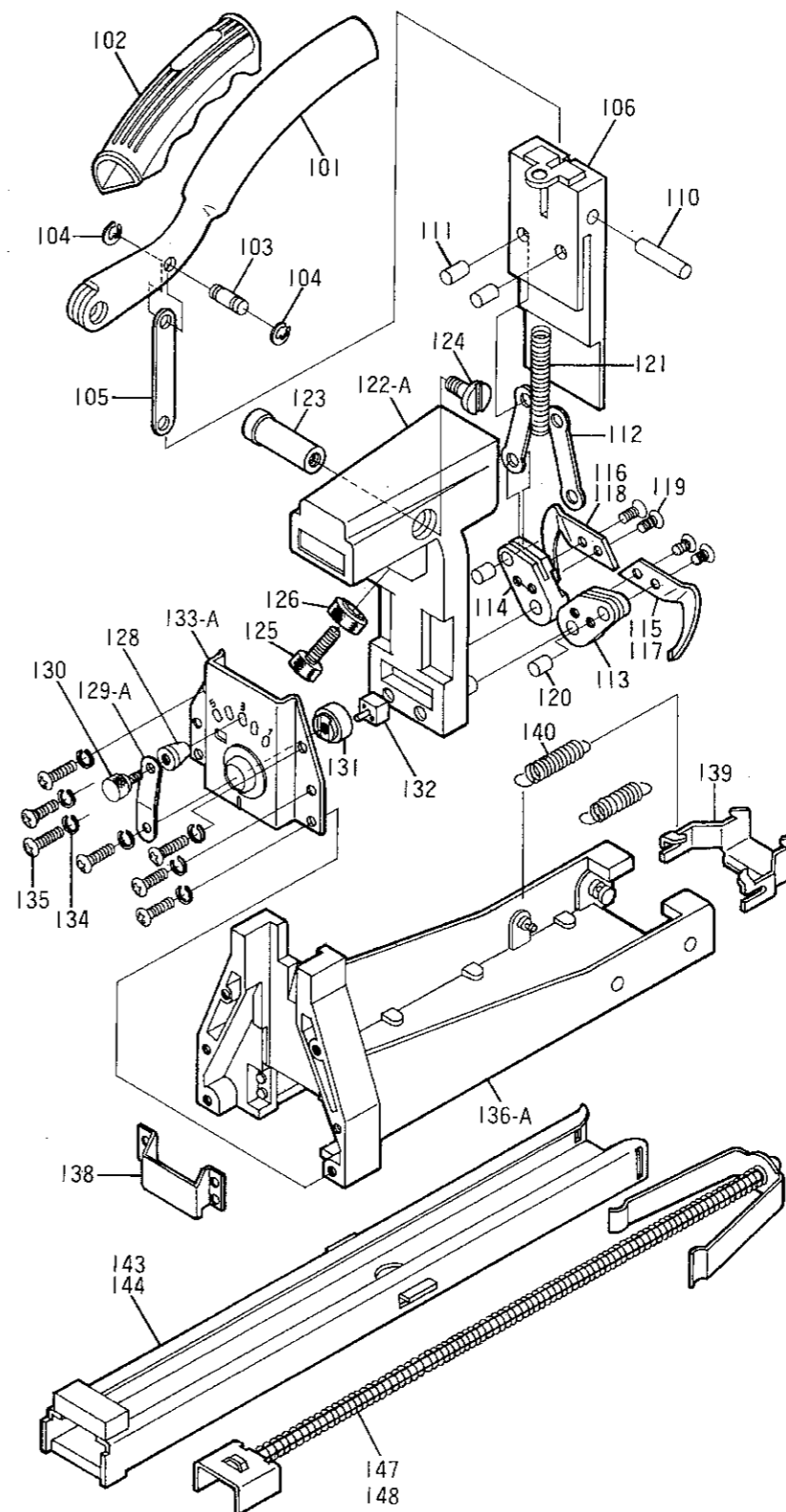
ご使用になる前、有効にお使い戴くためこの説明書をよくお読み下さい。

なお、この説明書はお手元に大切に保管してください。

株式会社 立川ピン製作所

大阪営業所	〒540-0029	大阪市中央区本町橋 8 番 16 号	TEL (06) 6942-1241	FAX (06) 6947-1737
東京営業所	〒130-0012	東京都墨田区太平 4 丁目 6-17	TEL (03) 5608-2100	FAX (03) 5608-2101
仙台営業所	〒983-0833	仙台市宮城野区東仙台 1 丁目 6-32	TEL (022) 251-8220	FAX (022) 251-8511
名古屋営業所	〒461-0034	名古屋市東区豊前町 2 丁目 68	TEL (052) 935-1575	FAX (052) 935-1736
福岡営業所	〒812-0014	福岡市博多区比恵町 10-15	TEL (092) 433-2101	FAX (092) 433-2102

TSH-15型・分解見取図
TSH-18型



部品表

部品番号	部品名	使用個数
101	ハンドル	
102	ハンドルグリップ	
103	レバーピン	
104	Eリングφ5	2
105	シャッターレバー	
106	シャッター	
110	シャッターレバー止ピン	
111	アンビルレバーピン	2
112	アンビルレバー	2
113	ホルダー(左)	
114	ホルダー(右)	
115	15mmアンビル(左)	
116	15mmアンビル(右)	
117	18mmアンビル(左)	
118	18mmアンビル(右)	
119	アンビル止ネジM4×9mmビス	4
120	アンビルレバー止ピン	2
121	シャッタースプリング	
122-A	ヘッド	
123	ハンドルピン	
124	ハンドルピン止ネジ	
125	調節ボルト	
126	ロックナット	
128	調節ピン受け	
129-A	調節ハンドル	
130	調節ピン	
131	調節盤	
132	調節子	
133-A	カバー	
134	スプリングワッシャー-M5用	7
135	なべネジM5×12	7
136-A	レール受け台	
138	レール当て板	
139	レール金具	
140	レール金具バネ	2
143	15mm用レール	
144	18mm用レール	
147	15mm用針押しセット	
148	18mm用針押しセット	

仕様

形 式	TSH-15型	TSH-18型
外 形 寸 法	高さ(H)260×巾(W)110×長さ(L)460mm	
重 量	2,000g	
ステーブル装填本数	100本(2連)	
綴じ込み深さの調整	5段階(両面段ボールの重ね合わせまで)	5段階(複合両面段ボールの重ね合わせまで)
クリンチ強度の調整	調節ネジにより任意	
使用ステーブル実寸図	 TB-15	 TB-18

ご使用方法

■ステーブルの入れかた

- ①レール後部の角穴に掛かっている針押しセットの板バネをはずして針押しセットを抜いてください。
- ②レールに指定のステーブルを2連入れて針押しセットを押し込んで針押しセットの板バネをレール後部の角穴に確実にセットして下さい。
- ③補充する場合はステーブルの残数が5～6本になれば補充出来ます、①②の要領で補充して下さい。
- ④ステーブルは2連以上装填出来ませんご注意下さい。

■綴じ込み(封函)の方法

- ①封函する段ボールケースのフラップ接合部と本機の中心が一致する位置で封函機の底面で段ボールケースを押し付ける様にしてハンドルを下方へ操作して下さい。
 - ②ハンドル操作は素早く行って下さい。
- この時片方の手でヘッド部を押さえながら作業するとより確実な封函作業が出来ます。

■綴じ込み深さの調整

- ①本機前側の調節ピン130を手前に引きカバー133-Aの穴からピンが抜けた所で右又は左の穴へ移動すると5段階に調整出来ます。(図1-図2参照)
 - ②右端の1の穴は厚い段ボール用で深く綴じ込みます。左端の5の穴は薄い段ボール用で浅く綴じ込みます。
- ご使用になる段ボールの厚さに合わせ梱包する商品に傷を付けぬ様、綴じ込み深さを調整してご使用下さい。

■クリンチ強度の調整(ステーブルの綴じ込み強さ)

- ①本機前側のロックナット126を緩め調節ボルト125を回して調整します。(図1-図2参照)
 - ②調節ボルトを右に回してネジ込むとクリンチは緩くなり左に回しゆるめるとクリンチは強くなります。
- 強すぎるクリンチは段ボールが破れます、適度な強さに調整してご使用下さい。
- ④調整後はロックナットを締めてご使用下さい。

図1

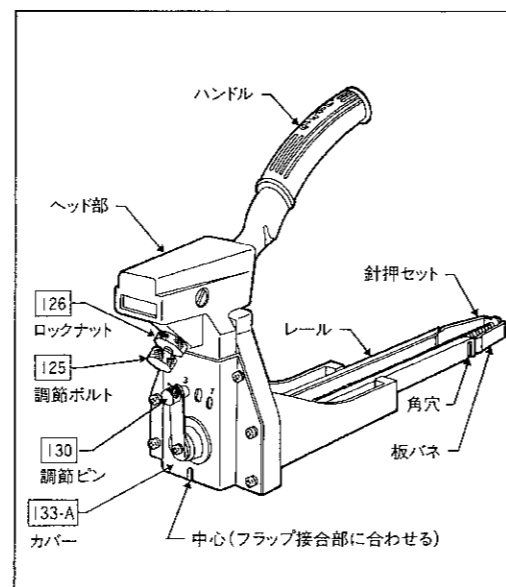


図2

綴じ込み深さの調整	穴1		深い綴じ込み
	穴3		標準綴じ込み
	穴5		浅い綴じ込み
クリンチ強度の調整			緩いクリンチ
			標準クリンチ
			強いクリンチ

性能を維持するために

■定期点検をする

本機の性能を維持する為に清掃、調整、作動部分への注油(グリス)等を定期的に行って下さい。特にアンビル(爪)やシャッターの摩耗、破損、スプリング類の弱り、各部ネジのゆるみ、等の点検を行って下さい。

■指定のステーブルを使用する

指定のステーブル又は本機の規格に合ったステーブルをご使用下さい。間違ったステーブルを使用されますと正しい封函が出来ないばかりか故障の原因になります、ご注意下さい。

ご修理のときは

- 本機は厳密な精度で製造されており、正常に作動しなくなった場合は最寄りのお買い上げ店または弊社営業所にお申し付け下さい。
- 部品をご入用の場合は機種名、型式、部品番号、部品名を明示してご注文下さい。
- 取り扱い上でご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせ下さい。

点検整備記録

お買い上げ店名	担当者
住所	TEL
〒	